

## 報告第1号

### 令和2年度事業計画及び収支予算について

令和2年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類については、理事会の承認により、次のとおり定めたので、報告します。

令和2年6月17日

公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社  
理事長 井出 孝利

## 令和2年度事業計画及び収支予算について

### I 事業計画

#### 第1 運営の基本方針

森林・林業は、健全な森林の育成を通して、地球温暖化防止を始めとする「公益的機能」の発揮、木材産業の需要に応じた原木の安定供給、山村地域の雇用創出など、その持続的な生産活動による貢献が期待されておりますが、木材価格の長期低迷や搬出コストの比重が大きいことなど、林業の低い採算性に加え、東京電力福島第一原子力発電所事故の放射線の影響による一部造林地の施業の制限等により、依然として厳しい環境にあります。

当社は、昭和42年に福島県林業公社として設立されて以来、造林を推進する県の補完機関として、県内一円における森林整備を通じて、県土の保全と農山村の振興及び住民の福祉の向上に大きく寄与してまいりました。

当社の経営につきましては、事業期間が超長期という林業の特殊性により、現在は必要な資金の大半を借入金に依存せざるを得ないため、多額の借入残高がある一方、造林木の平均林齢は約40年生となったところであり、今後も保育・間伐等を必要とする造林地が多く、当面はまとまった主伐収入が見込めない厳しい状況ではありますが、本県の公的森林整備の中核的機関として公社造林地を核とした森林整備により森林・林業の再生に先導的に取り組み、森林を健全な姿で次世代に引き継いでいく必要があります。

このような状況を踏まえ、令和2年度の実業運営に当たりましては、引き続き「(公社)ふくしま緑の森づくり公社経営改善計画書(第2次緑の森づくり新生プラン)」を着実に推進し、関係機関の支援を受けながら経営改革に全力で取り組むとともに、林業関係団体等との連携を図りつつ健全な森づくりに努めてまいります。

以下、主な事業計画について御説明いたします。

#### 1 効率的な森林整備と森林再生への取組

森林整備を通じ森林資源の培養や水源かん養などの公益的機能を発揮させるため、有利な補助事業を最大限活用し、利用間伐を含めた施業の重点化を図ることにより必要な事業量を確保し、関係機関及び林業関係団体との連携を図りながら効率的な森林整備に努めてまいります。

また、8年目を迎えるふくしま森林再生事業につきましては、面的なまとまりを有する造林地を健全な姿とするため、引き続き関係市町村の事業と連携を密にしながら、先導的かつ中核的な取組を進めてまいります。

## 2 木材生産販売対策の推進

路網の整備やストックヤードの確保により搬出コストの低減を図るとともに、復興・再生事業を始めとした一般用材の需要、木質バイオマスの推進に伴う燃料用チップの需要など、木材需要情報の把握に努めながら、未利用間伐材の利用促進を図るなど積極的な木材の生産販売に取り組みます。

また、木材市場での委託販売を始め単価契約による販売なども含め、公社造林のスケールメリットをいかした有利な木材販売に取り組みます。

## 3 分収造林契約変更の推進

分収割合の見直し及び契約期間の延長につきましては、公社経営改善の大きな柱であるため、国の「分収林施業転換推進事業」を活用し、計画期間内の目標達成に向け、県及び社員市町村の支援を受けながら、土地所有者から理解と協力が得られるよう引き続き交渉に取り組みます。

また、契約期間が長期に及ぶことから、契約者の世代交代等に対応して、契約者情報等、契約の適正な管理に努めてまいります。

## 4 普及啓発活動の展開

林業担い手等の育成及び確保を支援するため、林業関係団体等との連携を図りながら、公社造林地を活用した現地研修会を開催するとともに、講師派遣や講習場所として提供するなど、施業技術の習得や向上等に取り組みます。

また、ホームページの積極的な活用などによる情報発信や「福島県林業祭」への参画など普及啓発活動に取り組みます。

## 5 市町村との連携による新たな森林管理システムへの挑戦

社員市町村が今後進める森林経営管理制度の取組状況について情報収集を行うとともに、公社造林地に近接した区域において市町村が検討を開始する場合、連携しながら整備計画を進めてまいります。

また、現在、県や市町村が進めております林業専用道を活用した効果的な作業路網の整備による搬出コストの縮減や森林整備に取り組みます。

## 6 ICT技術、新たな施業技術の活用

計画的な森林整備やより効率的な出材を行うための路網整備などに必要な航空レーザー計測データ等のICT技術の導入に向け、森林GISの更新など公社造林地情報の精度向上に取り組みます。

今後とも、当公社の事業推進に当たりましては、県・市町村の御指導、御支援をはじめ、社員各位、土地所有者各位並びに林業関係団体の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 第2 事業計画

### 1 主な行事計画

期 日	場 所	行事の名称及び内容
令和2年		
4月 中旬	福島市	福島県非皆伐施業推進協議会通常総会
下旬	福島市	経営改善管理委員会
5月上中旬	福島市	会計監査人監査（決算監査）
上中旬	福島市	監事監査（決算監査）
下旬	福島市	第1回理事会
6月 上旬	福島市	定時社員総会
上旬	福島市	第2回理事会
上旬	東京都	全国森林整備協会通常総会
10月 中旬	未定	素材生産・労働安全研修会
下旬	郡山市	福島県林業祭
下旬	福島市	東北ブロック林業公社協議会
12月 上旬	福島市	財政的援助等団体に対する県監査委員監査
中旬	福島市	間伐材の利用促進に関する展示（福島県自治会館内）
～下旬		
令和3年		
2月 中旬	福島市	第3回理事会

（注）上記の他、林業関係団体等と連携して健全な森林づくりのための普及啓発に参画いたします。

## 2 分収造林事業

(単位:千円)

事業種		事業量	事業費	備考
保 育	下刈	6 ha	1,438	
	除伐	23 ha	7,085	
	保育間伐	464 ha	323,176	
	(搬出なし)	278 ha	105,827	
	(搬出あり)	186 ha	217,349	
	小計	493 ha	331,699	
ふくしま森林再生事業		65 ha	84,240	うち搬出あり 61ha うち搬出なし 4ha
作業路開設		19,600 m	0	
	(間伐作業路)	16,800 m	0	事業費は、保育間伐で計上
	(ふくしま森林再生)	2,800 m	0	事業費は、ふくしま森林再生事業で計上
作業路補修		5,000 m	15,000	
合計 (m)		24,600 m	—	
合計 (ha)		558 ha	430,939	

## 3 分収育林事業

(単位:千円)

事業種	事業量	事業費	備考
保育間伐	0 ha	0	

## 4 林産物売払事業(保育間伐等)

(単位:千円)

施行箇所	事業量	間伐収入	備考
伊達市ほか	247 ha	32,604	

## 5 分収割合の契約変更の推進

土地所有者からの理解と協力が得られるよう、県、市町村等との連携を図りながら積極的に推進する。

(単位:件)

区分	契約件数	変更契約済	令和2年度計画
市町村有林	50	50	0
個人・共有林等	2,912	1,964	43
計	2,962	2,014	43

注:変更契約済件数は、令和2年1月31日現在

